

西神楽の今と
地域づくりの取り組み
～地域集落ビジョン策定資料～

[聖和地域維持・活性化推進協議会]

1.地域のいま

はじめに

[地域概況]

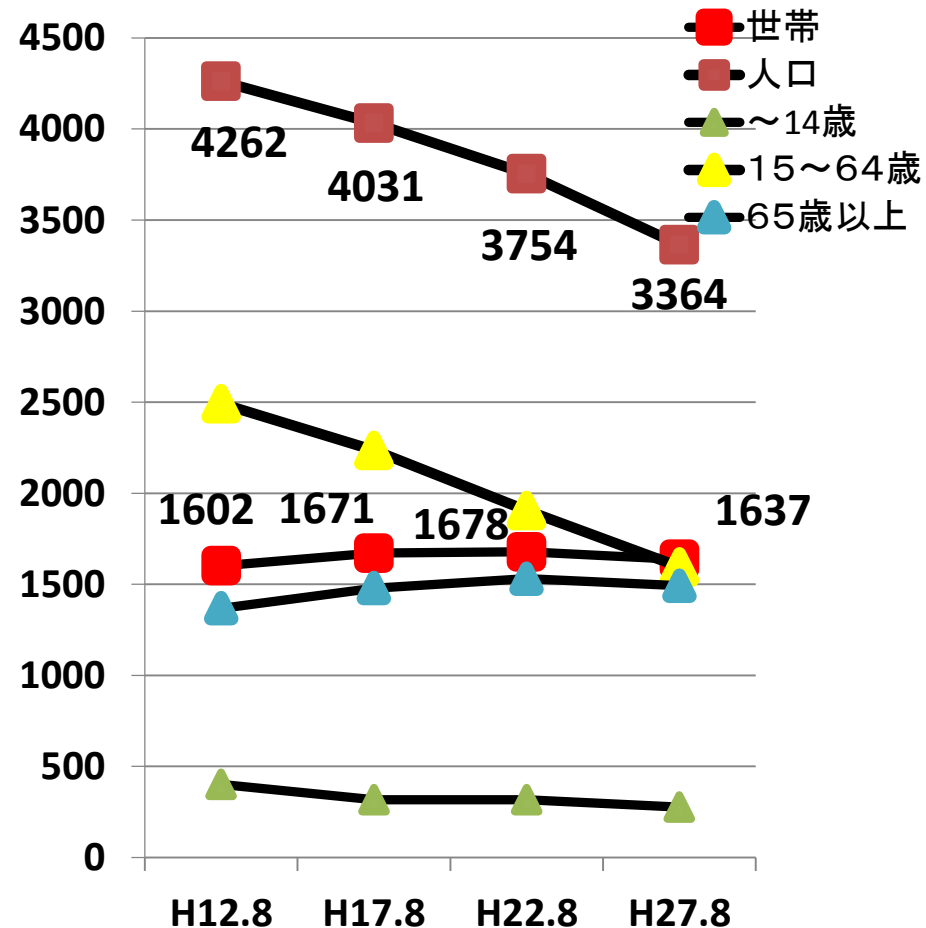
- 羽田から100分の旭川空港近郊に広がる田園地帯
- 旭川中心市街地まで車で10～20分の距離に医療・福祉施設、デパート・スーパー
- されど、少子・高齢化の急速な進行
高齢者の生活支援が急務

[取り組みの歴史]

- H8「西神楽地域づくり研究会」
- H13「NPO法人グラウンドワーク西神楽」(住民・企業・行政のパートナーシップ)
- 住民参加から始まり行政参加へと進むスタイル

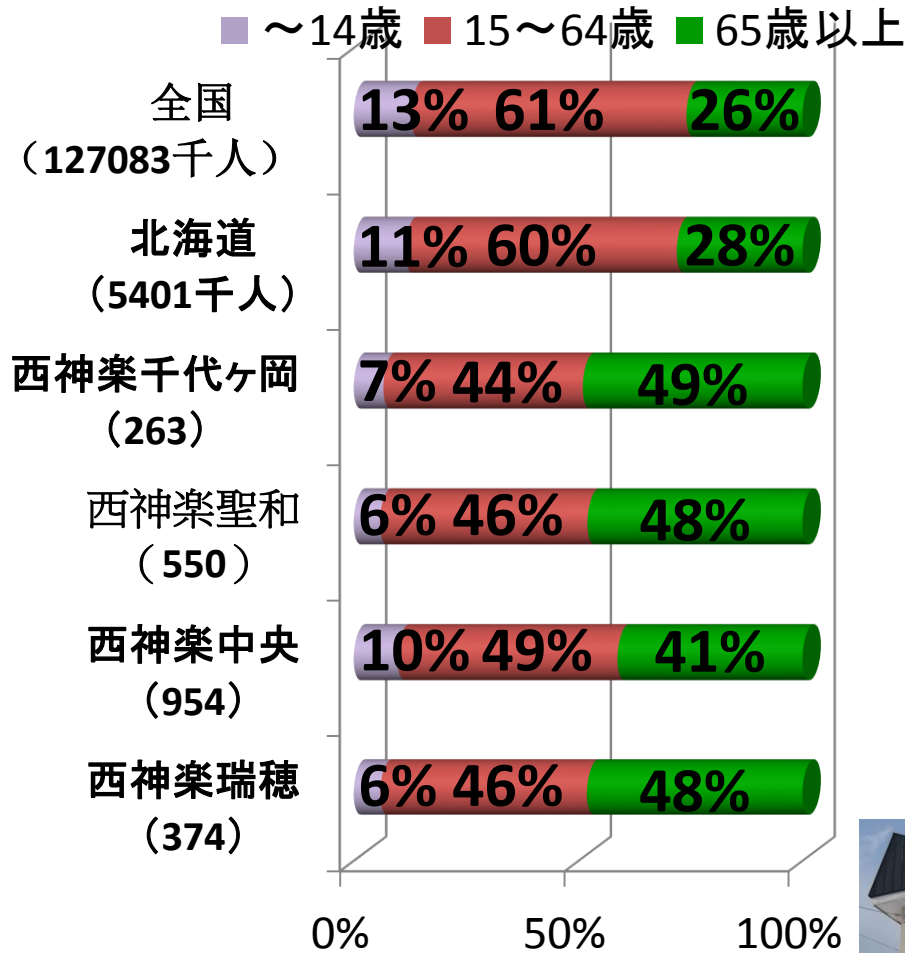
(1)人口減少

- 人口減少は止まらず、されど
- 地域のチカラ=世帯は微減に止まる



(2) 少子高齢

北海道、全国の
先を行く少子高齢化



(3) 空き家

旭川市平成25年調査(確報値)

住宅総数 : 176, 170戸

うち居住世帯なし : 24, 170戸

(二次的+賃貸用+売却用+その他)

13.7%

- 西神楽内では
- 具体的に物件を把握
- 所有者の意向も汲んで
- 具体的な利活用

○改修し「冬季集住・夏季滞在施設」

「地域の交流・文化施設」

○移住購入希望者とのバインド



全国・北海道(総務省統計局平成26年10月1日現在推計)
西神楽(旭川市 WEBページ 平成27年8月1日現在)

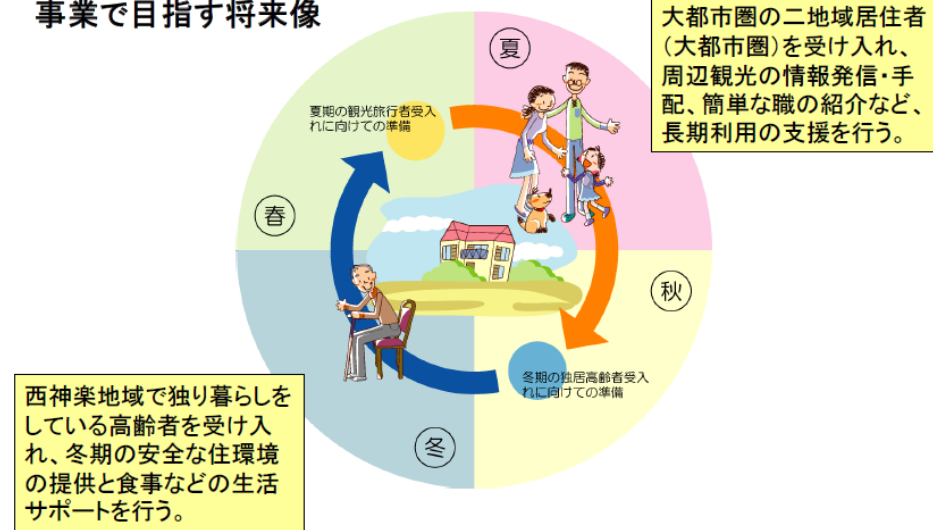
2. 冬季集住の取り組み

[冬季集住・二地域居住プログラム(H.21~)]

[高齢者の抱えるリスクと支援]

- 転居環境での早逝
- 地域で暮らし続ける支援の必要
- 冬季集住:1人暮らしの冬季生活支援(12・1・2月)
- 空き家整備／4人一組／昼食・夕食の宅配／通院・買い物送迎／自宅の除雪
- 利用者負担:1,000円程度／日
- 空き家の夏季観光客の中長期利用⇒収益の冬季集住補てん
- 除雪からの解放／安心感／家族の安心

事業で目指す将来像



3. 通院・買物送迎サービス

現在、30人規模の会員で
月に60回程度の利用

月4回まで

月2回まで

西神楽生活
支援互助会
(月額3000円)

通院・買物送迎サービス カレンダー

西神楽生活支援互助会(仮)

通院・買物送迎サービス

2015 平成27年

地区	7月							8月							9月						
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
瑞穂地区	28	29	6/30	1	2	3	4	26	27	7/28	29	30	31	8/1	30	31	1	2	3	4	5
	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
								23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	10/1	2	3
中央地区	28	29	6/30	1	2	3	4	26	27	7/28	29	30	31	8/1	30	31	1	2	3	4	5
	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
								23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	10/1	2	3
聖和地区	28	29	6/30	1	2	3	4	26	27	7/28	29	30	31	8/1	30	31	1	2	3	4	5
	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
								23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	10/1	2	3
千代ヶ岡地区	28	29	6/30	1	2	3	4	26	27	7/28	29	30	31	8/1	30	31	1	2	3	4	5
	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
								23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	10/1	2	3

連絡先: 080-2861-6618 (谷川)、西神楽生活支援互助会(仮)事務局 75-5305

4. パークゴルフの取り組み

[自力造成で自立運営]

[地域住民の声＋グラウンドワーク手法]

- 平成11年夏：瑞穂地区の高齢者から「美瑛川河川敷にパークゴルフ場を造ってほしいと」
 - 翌年1月、地域住民や関係機関の方々110数名が集まり「建設準備会設立総会」開催
 - 西神楽地区でグラウンドワーク運動を展開し、自らも参加してきた日本工業大学助教授より住民自らの手で整備する具体的方策の説明を受け成計画がスタート
 - 平成15年10月：『オープニングセレモニーおよび完成祝賀会』
- 西神楽地域で進めてきた「さと川パークゴルフ場建設に関わった関係団体・地域住民、来賓の方々など多くの協賛者とともに開催
- 交流の場／自主管理(高齢者雇用機会)
- 入場者数：約4.5万人／売上1760万(H.26)



5. 西神楽での「農村集落活性化支援事業」 (H27～H31)

[本事業前のこれまでの取り組み]

- 地域農業活性化 ●生活互助
- 交流人口 ●文化継承

[取り組みを更に進化させる]

- 空き家の多様な活用
- 都市部住民の呼び込み

[その先に目指すところ]

- 共助自立指数の
高い農村コミュニティ西神楽
- ・生活者の相互支援の仕組み向上
- ・家庭エネルギー自給の向上

[どうやってチャレンジ]

- 将来チャレンジビジョンで
 - 高齢農家生活支援
 - 女性グループ活動支援
 - 小規模高齢農家直売支援
 - 地域伝統文化保存活動から
- キー・アクション
 - 地域内の組織の連携
 - 地域内の人材育成
- その先に
 - 地域外、全国との多様な協働(個人、団体、企業・・・)
 - 聖和の安心・活性化

女性を軸とした実施体制でチャレンジ

[ねらい]



- 柔軟な発想と根性と行動力
- 暮らしに根差した必要感と工夫
- 女性ならではのネットワーク

[必要]

- 男性の協働が必須
- 多様な地域内外での連携